

Traders Market Report

金融商品取引業登録番号 関東財務局長(金商)第123号
〒106-6029東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー29階
トレーダーズ証券株式会社 マーケティング企画部 営業企画課 発行

<http://www.traderssec.com/>

【トレーダーズ・マーケット・レポート】
トレーダーズ・アイ



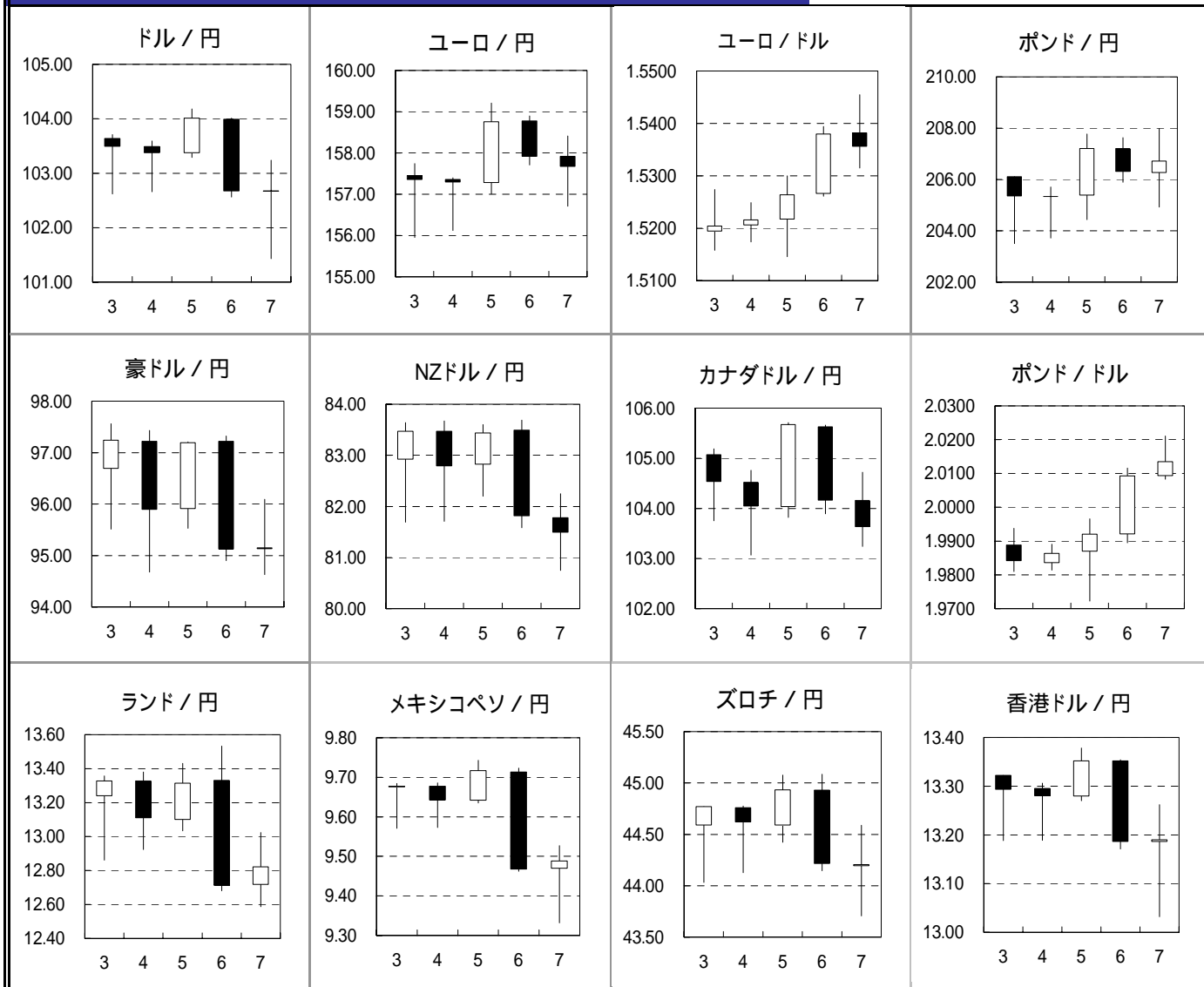
毎週月曜日(祝祭日除く)発行

平成20年3月10日

【週刊】 為替レポート

World Market Review for last week

2008/3/3 ~ 2008/3/7



通貨の高値と安値はインターバンクにおける瞬間値です。参考値としてお考えください。

先週のマーケットポイント

3日	2月の米ISM製造業景気指数は48.3、前月は50.7
3日	ユーロ圏の財務相、為替の動きを懸念 = ユーログループ議長
4日	豪中銀、オフィシャルキャッシュレートを0.25%ポイント引き上げ7.25%に
4日	RBA声明文「需要鈍化でインフレは来年減速へ」
4日	カナダ中銀、政策金利を3.50%に引き下げ
5日	2月ADP民間雇用者数は予想外の2.3万人、約5年ぶりの減少
5日	2月の米ISM非製造業総合指数(NMI)は49.3、前月は44.6
6日	NYタイムズスクウェアでの爆発報道で
6日	ECB、主要政策金利を4.00%に据え置き
6日	常に物価安定に必要な行動を取る = トリシェECB総裁
7日	2月の米非農業部門雇用者数は6.3万人、失業率4.8% = 労働省

当レポートの著作権はトレーダーズ証券に属し、許可無く複製等を行うことは出来ません。情報に関しては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害について、トレーダーズ証券は責任を負いかねます。また、掲載されている事項は、トレーダーズ証券のご案内のほか、外国為替・株式等の投資一般に関する情報の提供を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、金融先物取引は価格又は金融指標の数値により損失が生ずる恐れがあり、発生する損失が預託された金額を超える場合があります。事前にお渡した契約締結前書面又は説明書をよくお読みください。

先週の外国為替市場では、ドルに対してユーロや円が買われる展開となった。

ユーロ/ドル相場は、2月下旬に1.50ドル台に乗せてからも史上最高値を更新し続け、金曜日には一時1.5455ドルまで上値を伸ばした。一部のユーロ圏金融当局者から、ユーロ高牽制発言も聞かれていたが、米国で相次いで弱い経済指標の結果が発表されたことからドルの買いは手控えられた。特に金曜日に発表された米雇用統計で非農業部門雇用者数が6.3万人と、約5年ぶりの大幅な減少を示したことが響いた。また、ECB理事会後の記者会見で、トリシェECB総裁がユーロ高を牽制しなかったことや、ユーロ圏のインフレ予測が上方修正されたこともユーロ/ドル相場を押し上げる要因となった。

ドル/円相場も週末に大幅に下落。週前半こそ、103円台を中心に小幅推移となっていたが、木曜日に報じられたNYでの爆発騒ぎや米雇用統計の結果が重石となり、金曜日には一時101円台中盤まで下げ約8年ぶりの円高・ドル安となった。

< 及川 佳奈子 >

Historical Data Weekly O-H-L-C

USD/JPY	103.57-103.62	104.18-104.21	101.38-101.45	102.82-102.87
EUR/USD	1.5192-1.5197	1.5461-1.5468	1.5144-1.5147	1.5344-1.5349
EUR/JPY	157.39-157.46	159.17-159.22	155.92-155.97	157.79-157.86
GBP/USD	1.9884-1.9892	2.0212-2.0222	1.9719-1.9725	2.0142-2.015
GBP/JPY	206.01-206.11	207.94-208.04	203.47-203.55	207.12-207.22
AUD/JPY	96.61-96.68	97.54-97.63	94.59-94.68	95.37-95.44
NZD/JPY	82.83-82.93	83.60-83.70	80.72-80.84	81.64-81.74
CAD/JPY	105.05-105.15	105.69-105.77	103.02-103.10	103.86-103.96
MXN/JPY	9.64-9.69	9.73-9.76	9.26-9.33	9.48-9.53
ZAR/JPY	13.18-13.28	13.50-13.56	12.52-12.62	12.78-12.86
PLN/JPY	44.61-44.73	45.08-45.15	43.62-43.74	44.21-44.29
HKD/JPY	13.28-13.33	13.36-13.39	12.99-13.06	13.19-13.24

Market Point

トレーダーズTV

朝9:00 ~ 昼12:00 ~ 夕17:00 ~



FXシミュレーションゲーム「Net Forex ダービー」

参加無料！ 賞品総額100万円！

番組を見る <http://www.traderssec.com/traderstv/mpoint/>

詳しくは <http://www.traderssec.com/nfd/>

<<Market Outlook>> - 今週 -

(3/10 MON ~ 3/14 FRI)

前週金曜日に米労働省が発表した2月の米雇用統計で、非農業部門の雇用者数は前月比6万3000人減となり、市場予想(±ゼロから+2.5万人まで)を大きく下回った。1月と昨年12月の民間部門雇用者数は合計-9.5万人と下方修正され、3カ月連続のマイナスとなった。

これまで建設業関連に集中していた雇用環境の悪化が他の業種まで広がっており、米国経済の一段の不調を象徴するような結果となった。一部エコノミストのなかには「米国経済はすでにリセッション入りをした」との見方も現れてきた。

FRBは当面インフレリスクよりも景気下振れリスクを重視する政策を継続し、FF金利を4月FOMC終了時に1.75~2.00%まで下げざるを得ないと、当初の見通しを下方修正する動きもある。

金曜日の欧州市場では、同日のアジア市場の流れを引き継いでドル円は一時101.81まで売られたが、FRBが雇用統計の発表前、金融機関に入札方式で資金を供給する融資制度(TAF)について、当初予定よりも供給額を増やすと発表したことを好感して102円台前半まで値を戻した。

しかし、雇用統計の発表を受けて、ドル円は101.43と、2000年1月以来、約8年2カ月ぶりの円高・ドル安水準を付けた。その後は米長期金利や米株価が反転するとドル円も一気に103.25まで急上昇する場面もあったが、結局は102円台半ばで週の取引を終えた。

ユーロも米雇用統計を受け、一時対ドルで1.5465まで上昇し、ユーロ圏輸入の最高値を連日更新した。ただ、ユーロ買い一巡後は利益確定売りが出て、ユーロは下げに転じ、一時1.5313まで下落した。

今週のドル円相場は引き続き不安定な値動きが想定される。米景気・株価懸念をテコに1ドル=100円の大打撃をうかがう場面があり得る一方、投機的な動きが加速して円買い持ち高が偏り過ぎれば反動の余地も広がる。

直近の戻り高値のターゲットとしては、前週金曜日に記録した103.25が意識され、その次は104円近辺となる。大手の輸出企業のドル円の予算レートは105円に設定されている所が多い。しかし、通貨オプションを利用するとスポットレートが105円に至らなくても採算レートを確保するスキームも可能なことから、104円台から実需筋の売りが並ぶ可能性が高い。

一方、下値は金曜日の101.40近辺から99年末に記録した101.25あたりが意識されよう。そして今月中に100円割れも、の声がある一方、101円の壁は95年以降過去12年間破られていないという事実には注視する参加者もいる。ドル円が3月初めに下値を付けその後3月末にかけて反発する可能性が高い(過去5年間のうち4年間がそうであった)との記録もあるようだ。

次の焦点はFRBが来週18日に開くFOMCである。その会合結果や4月以降の政策スタンスを占ううえで今週13日発表の2月の米小売売上高と14日発表される2月のCPI、3月の米消費者態度指数(ミシガン大調査、速報値)といった一連の経済指標は注目度が高い。

日本では12日に昨年第4四半期GDP改定値の発表がある。このほか、日銀の次期総裁人事を巡る政府・与党と野党との攻防が激しくなりそうな気配だ。政府側は総裁候補に武藤敏郎・現副総裁を提示しているが、野党はこれに反対の姿勢と報道されている。仮に任期満了の19日までに同意に達しない場合は、金融市場に影響を与える可能性が高い。

< トレーダーズ投資顧問 藤田 規之 >

当レポートの著作権はトレーダーズ証券に属し、許可無く複製等を行うことは出来ません。情報に関しては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。万が一この情報に基づき被った損害については、トレーダーズ証券は責任を負いかねます。また、掲載されている事項は、トレーダーズ証券のご案内のほか、外国為替・株式等の投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、金融先物取引は価格又は金融指標の数値により損失が生ずる恐れがあり、発生する損失が預託された金額を超える場合もあります。事前にお渡した契約締結前書又は説明書をよくお読みください。

今週のマーケット予想

3/10 ~ 3/14の週

	100.00	101.00	102.00	103.00	104.00	105.00	106.00
USD/JPY							
EUR/JPY	154.00	155.00	156.00	157.00	158.00	159.00	160.00
EUR/USD	1.4700	1.5000	1.5100	1.5200	1.5300	1.5400	1.5500
AUD/JPY	93.00	94.00	95.00	96.00	97.00	98.00	99.00

レンジ予想は営業企画課によるものです。

今週の重要指標発表予定

表示の時間は日本時間です。

予定は変更される場合があります。

月日	曜日	時間	国名	発表指標	前回発表	予想
3月10日	月	16:00	独	1月貿易収支	108億ユーロ	155億ユーロ
3月10日	月	18:30	英	2月生産者物価指数(コア/前月比)	0.8%	0.4%
3月10日	月	18:30	英	1月鉱工業生産(前月比)	-0.1%	0.1%
3月10日	月	21:15	加	2月住宅着工件数	22.27万件	20.5万件
3月10日	月	23:00	米	1月卸売在庫	1.1%	0.4%
3月10日	月	29:30	MX	1月貿易収支改定値	-11.03億ドル	-11.52億ドル
3月11日	火	19:00	独	3月ZEW景況感調査	-39.5	-40
3月11日	火	21:30	加	1月国際商品貿易	24億カナダドル	26億カナダドル
3月11日	火	21:30	加	1月新築住宅価格指数(前月比)	0.1%	0.2%
3月11日	火	21:30	米	1月貿易収支	-588億ドル	-596億ドル
3月11日	火	23:00	米	クローズナーFRB理事、講演	-	-
3月11日	火	23:30	米	ポールソン財務長官、講演	-	-
3月12日	水	08:50	日	日銀金融政策決定会合議事要旨	-	-
3月12日	水	08:50	日	第4四半期実質GDP(前期比年率)改定値	3.7%	2.3%
3月12日	水	08:50	日	2月国内企業物価指数(前月比)	0.2%	0.3%
3月12日	水	08:50	日	1月国際収支-貿易収支	10134億円	731億円
3月12日	水	10:30	日	野田日銀審議委員、講演	-	-
3月12日	水	13:00	日	2月企業倒産件数(前年比)	7.6%	-
3月12日	水	18:00	南ア	1月実質小売売上(前年比)	-0.5%	-1.5%
3月12日	水	18:30	英	1月貿易収支	-47.23億英ポンド	-46億英ポンド
3月12日	水	19:00	欧	1月鉱工業生産(前月比)	-0.2%	0.4%
3月12日	水	19:45	欧	ユンケル・ルクセンブルク首相兼財務相、講演	-	-
3月12日	水	26:30	欧	シュタルクECB専務理事、講演	-	-
3月12日	水	27:00	米	2月月次財政収支	-1200億ドル	-1650億ドル
3月13日	木	06:45	NZ	1月小売売上高指数(前月比)	0.1%	0.2%
3月13日	木	09:30	豪	2月新規雇用者数	2.68万人	1.5万人
3月13日	木	09:30	豪	2月失業率	4.1%	4.2%
3月13日	木	13:30	日	1月鉱工業生産(前月比)確報値	-2.0%	-
3月13日	木	13:30	日	1月稼働率指数確報値	1.7%	-
3月13日	木	18:00	欧	3月ECB月報	-	-
3月13日	木	21:30	米	2月輸入物価指数(前月比)	1.7%	0.8%
3月13日	木	21:30	米	2月小売売上高(除自動車)	0.3%	0.2%
3月13日	木	21:30	米	新規失業保険申請件数	35.1	35.5
3月13日	木	23:00	米	1月企業在庫	0.6%	0.5%
3月14日	金	06:45	NZ	第4四半期製造業売上高	-2.1%	-
3月14日	金	16:00	独	2月消費者物価指数(前年比)改定値	2.8%	2.8%
3月14日	金	19:00	欧	2月ユーロ圏消費者物価指数(前年比)	3.2%	3.2%
3月14日	金	21:30	米	2月消費者物価指数(前年比)	4.3%	4.3%
3月14日	金	23:00	米	3月ミシガン大学消費者信頼感指数速報値	70.8	69
3月14日	金	24:00	MX	オーバーナイト・レート	7.5%	7.5%
3月14日	金	26:00	米	バーナンキFRB議長、講演	-	-

当レポートの著作権はトレイダーズ証券に属し、許可無く複製等を行うことは出来ません。情報に関しては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害について、トレイダーズ証券は責任を負いかねます。また、掲載されている事項は、トレイダーズ証券のご案内のほか、外国為替・株式等の投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、金融先物取引は価格又は金融指標の数値により損失が生ずる恐れがあり、発生する損失が預託された金額を超える場合もあります。事前にお渡した契約締結前書面又は説明書をよくお読みください。